

平成31年度 当初予算事業の概要説明書(兼評価説明書)

1. 事務事業の概要

事務事業名 (中事業)	スポーツツーリズム事業					
基本政策	03 ころ豊かな人が育ち、いきいきと活躍できるまち					
政策	04 地域に根ざした多彩な文化と生涯スポーツ					
施策	02 生涯スポーツ活動・交流の推進					
実施形態	直営					
事業期間	単年度	平成30年度～				
要求区分	継続	予算区分	政策			
事業の実施を市に義務づける国の法令						
有 無	なし					
法令名 条項						
予算科目	01一般会計—10—教育費—06保健体育費—01保健体育総務費					
部名	教育委員会	課名	生涯学習課スポーツ振興室			
課長名	西村 寿之	TEL	22-5996	内線	14	

2. 対象・目的・内容

事業概要	市内には様々な観光資源があるが、これを効率良く回ることのできるウォーキングコースを市民や市外からの来訪者に提案することで、健康増進と地域の観光振興の両方に役立てる。 マップには、コース紹介のほか、コース上の文化財や飲食店などの紹介、また各ポイントに設置したスタンプを押印することで、完歩認定を受けることができる。
事業の対象 (誰・何を)	市内のウォーキング愛好家及び市外からの観光目的の来訪者など
事業の目的(ど ういう状態にす るために)	市民の健康増進に役立てると共に、市外からの来訪者の増加による地域観光などの振興に寄与する。
事業の内容(ど ういう内容を行 うのか)	ウォーキングマップの年次更新及び内容を充実させる。 コース周知のためのウォーキング会を年9回実施する。

3. 年度別事業費

(単位:千円)

	事業費							
	国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源	
平成28年度決算額							0	
平成29年度決算額							0	
平成30年度決算額	376						376	
平成31年度予算額	108						108	

4. 総コストの概算

(単位:千円)

平成30年度のこの事業に 従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	平成30年度 決算額 (B)	総コスト (A)+(B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.10	0.10	0.20	1,015	376	1,391
事業費の主な使途	消耗品購入代、印刷代				

5. 事業の実績・目標

(単位:千円)

活動 指標 ①	指標名	参加者数			単位	人
	説明や数式	ウォーキング会の参加者数				
	年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	目標値		200	300	300	
	実績値		200			
	経費(千円)		1,391			
単位当たりのコスト	#DIV/0!	6.96				
活動 指標 ②	指標名				単位	
	説明や数式					
	年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	目標値					
	実績値					
	経費(千円)					
単位当たりのコスト	#DIV/0!	#DIV/0!				
成果 指標 ①	指標名				単位	
	説明や数式					
	年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	目標値					
	実績値					
	経費(千円)					
単位当たりのコスト	#DIV/0!	#DIV/0!				
成果 指標 ②	指標名				単位	
	説明や数式					
	年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	
	目標値					
	実績値					
	経費(千円)					
単位当たりのコスト	#DIV/0!	#DIV/0!				
実績・成果等の説明	平成30年度はスポーツ推進委員が中心となり市内7地区に9つのウォーキングコース(合計100km)を設定すると共に、ウォーキング会を開催してコースのお披露目を行った。					

6. 評価

1次評価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	3
		直接のサービスの相手方	5	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	1
	事業の総合評価	継続実施					
	説明	市の健康事業への寄与も見据え、引き続き冊子の充実やコース周知に努める。					
2次評価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	4	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	3
		直接のサービスの相手方	1	受益者負担の適切さ	5	市民ニーズの把握	1
	事業の総合評価	改善見直し					
	説明	本事業は、スポーツを通じた誘客とそれに派生する経済効果にも期待するものであるが、一方で、健康ポイント事業と関連付けるなど、市民を対象とした取組もみられる。本市では、“歩くことは健康につながる”という考えの下、「健幸都市」の実現を目指しているところであり、魅力的なウォーキングコースの設定は有効な取組であると考えられるが、限られた経営資源を効果的に配分するためにも、メインの目的とターゲットは何かを明確化し、それに沿った事業展開を図りたい。					